

記入式シート 3 点(単体版)

『緊急連絡体制のつくり方 ― ISO 9001・14001 の審査で見られる 3 点から、逆算してつくる』に収めた記入式シート 3 枚(連絡体制シート ISO 9001 版 §4-1 / ISO 14001 版 §4-2 / 訓練実施記録シート §6)を、印刷して書き込めるように抜き出したものです。1 ページ目が列の意味、2 ページ目からがシート 1 枚ずつです。なぜその列なのかまで読みたい方は、本編(A4 PDF)をあわせてご覧ください。

4-0. 列の意味

どちらのシートも列は同じで、規格 7.4 の項目と一対一で対応しています。

列	対応	埋めるときの注意
何を(事象)	7.4 a)	「緊急時」とだけ書かない。どういう事象が起きたときかを具体的に書く
誰に(連絡先)	7.4 c)	組織名だけでなく、部署・担当・電話番号まで。夜間・休日の番号が別なら、それも
いつまでに	7.4 b)	「速やかに」は避ける。「覚知後 30 分以内」のように時間で書く(理由は下の注意書き)
どのように(手段)	7.4 d)	電話／メール／FAX／訪問。第一手段が使えないときの代替も書いておく
誰が(担当)	7.4 e) (9001)	個人名ではなく役職で書く。個人名だと異動のたびに全面改訂になる
判断基準	—	「どうなったら連絡するか」の線。規格の要求というより、審査で必ず聞かれるので入れています

⚠ 「速やかに連絡する」と書かないでください

これは、審査でいちばん突かれる書き方です。

「速やかに」と書いてあると、誰が「速やかだ」と判断するのかが決まっていません。審査では「いつ・誰が・何を基準に判断するのですか」と必ず追いかけられます。そこで答えに詰まると、体制そのものが疑われます。

時間で書くのは、審査対策というだけではありません。実際に事故が起きたとき、「30 分以内」と書いてあるかどうかで、現場の動きが変わります。

4-1. ISO 9001 版 — 品質に関わる緊急時の連絡体制

想定する事象: 不適合品の流出／製品事故・人身被害／出荷停止・回収／設備停止による納期遅延

何を(事象)	誰に(連絡先・部署・電話)	いつまでに	どのように(手段／代替)	誰が(役職)	判断基準
不適合品が出荷済みと判明した					
製品に起因する人身被害が発生した					
設備停止により納期に影響が出る					
(自社固有の事象)					

4-2. ISO 14001 版 — 著しい環境影響が生じたときの連絡体制

想定する事象: 油・薬品の漏洩／排水・排ガスの基準超過／火災・爆発／騒音・振動・臭気の苦情／廃棄物の不適正処理の判明

何を(事象)	誰に(連絡先・部署・電話)	いつまでに	どのように(手段／代替)	誰が(役職)	判断基準
油・薬品が敷地外に流出した					
排水・排ガスが基準を超過した					
火災・爆発が発生した					
騒音・振動・臭気の苦情を受けた					
廃棄物の不適正処理が判明した					
(自社固有の事象)					

訓練実施記録シート(記入式)

このシートを、訓練 1 回につき 1 枚作ってください。

項目	記入欄
実施日時	年 月 日() 時 分 ～ 時 分
実施の目的	
想定した事象	
対象者数	名
回答者数	名
未回答者数	名
回答が出そろうまでの時間	分
未回答の方への対応	いつ・誰が・どう追いかけたか、その結果どうだったか
当日気づいたこと	
次回までに直すこと	
前回の「直すこと」は解消したか	☐ 解消 ☐ 未解消(理由:)
記録者	
承認者・承認日	